

# 諭鶴羽山

瀬戸内海国立公園  
特別地域



平和祈念塔からのご来光(シルエットは紀州の山なみ)

峰は ゆつるはの峯  
阿弥陀の峯  
弥高の峯  
(枕の草子十二段)

諭鶴羽山データ

- ・標高 607.9m・淡路島最高峰
- ・一等三角点 ・関西百名山
- ・兵庫ふるさとの山 50山

## YUZURUHASAN

神話と大自然に彩られた霊峰



ユズリハ木(神樹)



諭鶴羽神社 ㊤本殿



元熊野碑



諭鶴羽山山頂(四月春例大祭)



採燈大護摩供法要(三月下旬頃)



親子杉(兵庫の巨樹・巨木)



楽しい!!諭鶴羽山登山 諭鶴羽古道を守る会

きつと出会える  
森の神様に…

親子杉



アカガシの森  
(兵庫県指定  
天然記念物)



# SIZENTAIKEN (自然体験)

耳を澄ませば 森からの声が…



自然学校・キャンプ



ユズルハジヤスミン(シタキソウ)



諭鶴羽山登山



ヒメシヤラ



ヤマボウシ



環境体験・作品づくり  
(森からのプレゼント)



オンツツジ



子ども会行事



エコトイレ  
(高度浄化処理水洗トイレ)



杠山荘(ゆずりは山荘)  
(活動の拠点に)



山ぼうしの広場  
(芝生広場)

活動応援・施設案内  
諭鶴羽古道を守る会では、  
諭鶴羽山登山、野外活動や体  
験活動の応援もしています。

# 諭鶴羽古道

三原平野

(南あわじ市指定文化財 史跡)  
沼島



灘黒岩水仙郷



鳴門海峡と夕日



柴折り地藏



行場の滝



◀国衛・福良・西淡・三原IC 洲本▶

## YUZURUHA KODOU

身も心も大自然にゆだねて…

### 諭鶴羽修験道由縁

#### ① 五大修験

「西天竺の霊神が第十代崇神天皇の御代に五つの剣を東に向かつて投げられ『我が縁のある地に留まれ』と誓いたもうた。」

- 一は、紀伊国、熊野三山に
- 一は、下野国、日光山に
- 一は、出羽国、羽黒山に
- 一は、豊前国、彦山に
- 一は、淡路国、諭鶴羽山に

留まったと伝えられています。

#### ② 元熊野

熊野権現御垂迹縁起によると甲寅の年、唐の天台山の霊神が九州筑紫国、英彦山の峰にご降臨され、戊午の年、伊予国、石鎚の峰に渡られ、甲子の年、淡路国、諭鶴羽の峰に渡られた、後、庚午の年、熊野新宮、神蔵の峰に渡られた…と伝えられています。

#### 多宝塔影板碑

(南あわじ市指定文化財)

#### 奥宮十二所神社

青銅製のご神体に背銘「当山、十二所権現、作奉美作住人」と記されています。

#### 建武元年銘

在銘町石として、は、兵庫県下最古、全国9番目の古さを誇ります。



信仰の道、修行の道  
そして、癒しの道…

# 誰でも参加できる 行事案内

初詣でもち焼き行事

お正月三日日

淡路ではお正月、高山参りの風習があり、高山でお餅を焼いて食べると一年間無病息災の言い伝えがあります。論鶴羽山はその代表格。境内のタブの森では、古木でお餅を焼く参拝者でいっぱいになります。

また、ご来光を遙拝する適地でもあり、山頂や平和祈念塔では、ご来光の時刻になると初詣客で賑わいます。淡路島最高峰の論鶴羽山から拝む朝日はすばらしい。

採燈大護摩供法要

三月下旬頃

論鶴羽山は、五大修験の聖地として古くより信仰を集めてきました。しかし、戦国時代の度重なる焼き討ち、再興を試みるもかなわず、さらに、明治初年の神仏分離、廃仏毀釈などは修験道衰退に拍車をかけ、とうとう論鶴羽山での修験道は消滅しました。

平成二十年、行者山田智泉氏の論鶴羽修験復興への志に共鳴する行者達集まり、修験道を復活させました。

春例大祭

四月第二土曜日

論鶴羽神社のご祭神

「国生み神話」で知られた伊弉册尊さまを主神にその御子、速玉之男命、事解之男命の三柱の神様をお祀りされています。

山開き登山 秋新嘗祭

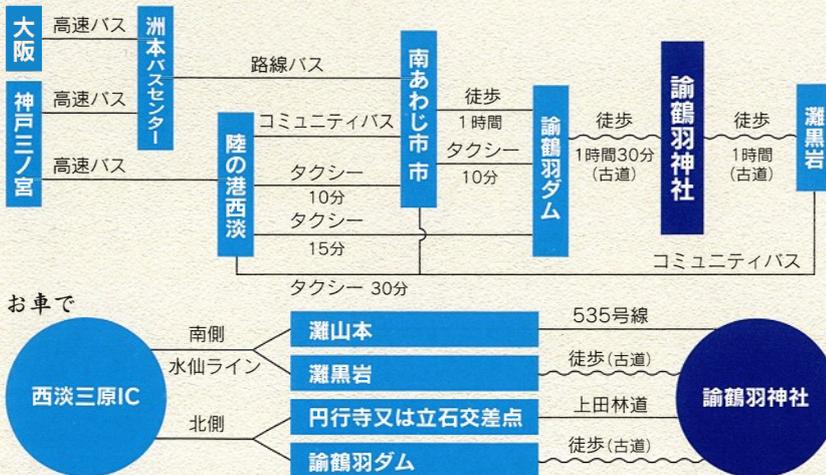
十一月下旬頃

本格的な登山シーズンを迎えるにあたり、修験の道である論鶴羽古道の清掃、整備を行い、その後、十一月下旬頃を選んで山開き登山を行います。論鶴羽山の登山シーズンは、秋から冬、そして春にかけてです。

この日、シーズン中の安全祈願祭と新嘗祭の行事が行われます。シーズン中には、全国から三千人以上の人たちがこの論鶴羽古道を登山します。



## アクセス



## 昼食・見学



## 温泉施設



## タクシー



なるとタクシー  
 (論鶴羽山に詳しい)  
 ☎0799-52-0298  
 ☎0120-42-0395

## 宿泊・昼食



論鶴羽山での活動  
 (登山・キャンプ・野外活動等)  
 を応援します。

お問合せ  
 連絡先

## 論鶴羽古道を守る会

TEL.0799-56-0315 携帯.090-3990-5334

論鶴羽古道を守る会事務局(論鶴羽神社内)  
 〒656-0551 兵庫県南あわじ市灘黒岩472

E-mail : yuzuruha@f4.dion.ne.jp

(本案内は、兵庫県の地域づくり活動応援事業の助成を受けて作成しております。) **論鶴羽神社ご案内** **検索**

※画像・文章の無断転載は禁止します。